

20. 材料検収状況

20-1 土壌改良材



留意事項

- 袋に番号がマーキングされ数量がわかりやすい。
- 縦にも番号をマーキングすると、なお一層搬入数量がわかりやすくなる。

撮影方法

- 工事に使用される主要材料は、形状寸法・数量・品質等が確認できるように撮影する。
- 番号を付けるなど、搬入された数量が把握できるようにする。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 品名、規格
- 搬入量を記入する。

20-2 PHC杭



留意事項

- 長さ方向にリボンロッドをおき、断面だけでなく、長さ方向も確認できるようなアングルで撮影する。
- 杭に番号を付け、数量が確認できるアングルで撮影する。
- 測定者や黒板を持つ者は、撮影対象ができるだけ写るように端の方で検収する。

撮影方法

- 測定寸法が確認できるように撮影する。
- 番号を付け搬入された数量が把握できるようなアングルで撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 品名、規格
- 搬入量
- 実測寸法を記入する。

20-3 鋼矢板



留意事項

- 鋼矢板に長さがマーキングされており、わかりやすい。
- 鋼矢板に番号を付け、搬入量が明確となるようにする。
- 黒板が長さ方向をさえぎらないようにする。
- スタッフを立てて、目盛をカメラ方向に向ける。

撮影方法

- 測定寸法が確認できるように撮影する。
- 番号を付け、搬入された数量が把握できるようなアングルで撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 品名・規格
- 搬入量
- 実測寸法
- 鋼矢板の略図を記入する。

20-4 鋼製支保工



留意事項

- リボンロッドの実測寸法が読みとれない。
- 測定者は手前で測定する。この場合、撮影対象をさえぎらないように右端手前に立ち、リボンロッドの目盛にピンポールをあてる。
- 鋼製支保工に番号を付け、搬入量が明確となるようにする。

撮影方法

- 測定寸法及び形状が確認できるように撮影する。
- 番号を付け、搬入された数量が把握できるようなアングルで撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 品名・規格
- 搬入量
- 実測寸法
- 鋼製支保工の略図を記入する。